

平成 21 年度岡山大学法学部・岡山大学法学会講演会

国のすがたと統治のあり方

—変動期における憲法の役割—

講 師：大石 眞 氏（京都大学教授）

日 時：12月2日（水）15：30～17：30

場 所：文法経講義棟・第26番講義室

政治改革や行政改革を始めとする一連の制度改革によって、憲法は変わらな
いのに日本の統治構造のあり方は大きく変化しました。こうした現象は、憲法
の観点からどのように理解すべきでしょうか。また、改革の時代に、憲法はど
のような役割を果たすのでしょうか。

本講演会では、現在の憲法学における統治機構分野の第一人者であり、また、
有識者として国の審議会委員も数多く経験されている大石 眞 氏をお迎えし、
国の統治システムをめぐる憲法上の問題について、実務での現状も踏まえてお
話していただきます。さらに、政権交代が行われた今後、憲法をめぐる問題状
況がどのように変動するかの展望についても、興味深いお話をうかがうことが
できるでしょう。

<講師紹介>

(専 攻)

憲法・議会法・宗教法・憲法史

(略 歴)

1951年 宮崎県生まれ

1974年 東北大学法学部卒業。同助手、千葉大学助教授、九州大学教授等を経て

1993年 京都大学大学院法学研究科教授（憲法講座）

現 在 京都大学公共政策大学院長

(主 著)

『議院自律権の構造』（成文堂・1988年）

『憲法と宗教制度』（有斐閣・1996年）

『日本憲法史〔第2版〕』（有斐閣・2005年）

『憲法秩序への展望』（有斐閣・2008年）

『憲法講義Ⅰ〔第2版〕』（有斐閣・2009年）、『憲法講義Ⅱ』（有斐閣・2007年）ほか

主 催：岡山大学法学部・岡山大学法学会（問合わせ：法学部・井上研究室 086-251-7389）